

大妻女子大学
総合情報センター
年報 2014年度 第7号

総合情報センター一年報 第7号 目次

刊行に寄せて メディア今昔 大妻女子大学 学長 荻上 紘一	2
なに、図書館が遠いだって？ 総合情報センター 所長 栗原 裕 . .	3
2014年度 総合情報センター業務報告	4
図書館グループ業務報告	8
メディア教育開発グループ業務報告	18
2014年度 総合情報センター組織	25
大妻女子大学総合情報センター規程	26
大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程	27
総合情報センター図書館グループ及びメディア教育開発グループ沿革	28
総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧	30

メディア今昔

大妻女子大学
学長 荻上 紘一

日常的なコミュニケーションに詩歌を使っていたという古の日本の文化洗練度は驚嘆に値するのではないだろうか。その昔の若者達は、今ならば携帯電話や e-mail で伝えるであろう「心の内」を、和歌という実に優雅なメディアに託して伝え合っていた。『万葉集』にある額田王の

茜さす紫野ゆき標野ゆき野守は見ずや君が袖振る

と、それに対する大海人皇子の返歌

紫の匂へる妹を憎くあらば人妻故に吾恋ひめやも

などはその典型である。このような感情の微妙な陰影を伝えるには、滔々たる長広舌よりも三十一文字の定型詩で表わす方が遙かに効果的である。言葉を最小限に削ることによって、言外に豊かな情感を膨らませることができ、言葉にならない漠然とした雰囲気までも押し包んで相手に伝えることができる。メディアとしての和歌の優れた点はまさにそこにある。

和歌より更に短く、わずか十七文字で構成される俳句は、世界で最も短い定型詩であろう。

閑さや岩にしみ入蝉の声

が伝えてくれる山寺の情景は、どんな絵や写真にも優る。

和歌や俳句などは人々の感情や感動を他の人々に伝えつつ、日本の豊饒な文学世界を形作り、文化の中心を担ってきたのである。私達は四季折々の風情に「もののあはれ」を感じるとき、和歌や俳句というメディアによって伝えられ形成されてきた文化の中で生きているのだということを実感せずにはいられない。

古人達は、この様に優れたコンテンツをどの様に記録し、他者に伝達していたのだろうか。『万葉集』の時代の若者達は、和歌を筆と墨を用いて紙に記して密かに相手に届けていたのであろう。筆、硯、墨が記録用具であり、紙が記録媒体であった。中国では、筆、硯、墨、紙は「文房四宝」といわれた。中世になると、遠方まで情報を伝達する手段として飛脚が登場した。明治以降は、万年筆やインクなどが文房具の主流になった。明治・大正・昭和の「文房四宝」は、万年筆、インク、紙であろう。現在はパソコン、タブレット端末、スマートフォンなどが必需品になり、「文房具」という言葉はあまり使われなくなった。強いていえば、現代の「文房四宝」はパソコンとUSBまたはクラウドなどの電子媒体ということか。記録用具は筆、硯、墨から万年筆、インクやボールペンを経て、パソコン、タブレット端末、スマートフォンへと「進化」してきたが、筆、硯、墨や万年筆、インクは依然として現役である。記録媒体は紙の時代が長く続き、現在は紙と電子媒体が併存している。伝達手段は手渡しから飛脚、郵便と進化し、現在は郵便とe-mailが併用されている。私自身はといえば、かなり以前から発信は専らe-mailを用いている。年賀状以外に手紙を出すことは希である。要するに筆無精である。友人達には「手紙をくれても返事は書かないから、悪しからず。e-mail をお願いします。」とお断りしている。

しかし、このことは「重大な問題」を含んでいる。もし全ての人が、物心がついて以来、専らパソコン、タブレット端末、スマートフォンなどを記録用具とし、e-mailを伝達手段として成長すれば、やがて字を書くことが出来る人がいなくなる。計算についても同じ事がいえる。世の中に、字を書くことが出来る人や、計算の仕方が分かる人がいなくなれば、パソコンやソフトを作ることが出来なくなってしまう。

パソコン、タブレット端末、スマートフォンなどは純然たる用具であるのに対して、筆、硯、墨や万年筆などは「芸術的価値」とでもいうべき要素を併せ持っている。実用性より「芸術性」の方が重視されることが珍しくない。そのために、高級品、名品、珍品、骨董品などが存在する。世の中には、筆、硯、墨、万年筆などの愛好家、蒐集家が多いらしいが、我が国を代表する万年筆の蒐集家が本学にいらっしゃることはあまり知られていないのではないだろうか。何と！6000本以上蒐集し、所蔵していらっしゃる由である。その中には、夏目漱石が愛用したオノトなどという珍品も含まれているらしい。6000本を所蔵する「博物館」が練馬辺にあるらしいのだが、公開されていないので訪ねることが出来ない。6000本の中の何本かは拝んだことがあるが、「博物館」が公開される日が待ち遠しい。

なに、図書館が遠いだって？

総合情報センター
所長 栗原 裕

このところずっと、図書館の利用が芳しくない。校舎から遠いというのだ。インターネットを使い、居ながらにしてあらゆる情報にアクセスできることに慣れると、ちょっとした距離も遠いと感じることになる。本学の千代田キャンパスの図書館は講堂と体育館の傍らの交差点信号から170メートル。講堂の図書館寄りの角からなら120メートル。もっとも、そこには通用口がないから、これは意味のない数字ではある。確かに、授業の合い間の10分間の休み時間に図書館まで往復する気にはならない距離である。

しかし、この距離を遠いとするのは、あまりにも狭いキャンパスに馴染みすぎているからにちがいない。たとえば、東京大学を引き合いに出すまでもなく、早稲田でも法政でも、大学の中央図書館がキャンパス内のあらゆるところから50メートルであるなどということはない。筑波大学や広島大学のような広大なキャンパスの図書館になると、学生たちは自転車で通う。

本当を言うと、われわれの大学の千代田キャンパスが狭すぎるのである。そして、狭いキャンパスのなかで図書館の場所だけがちょっとはずれて離れ小島になっているということなのだ。あいだにカフェがあったり、寿司屋があったり、区立の保育園があったり、集合住宅があったりして、要するに飛び地なのである。せめて講堂の隣りに、あるいは体育館の隣りに接していてくれればいいのに、と。

オセロゲームなら飛び地とのあいだの駒を一気に裏返してこちらの所有物に変えてしまうこともできるが、現実に領土拡張を画策するわけにはいかない。それなら、どうしたらいいか。なにか手はないか。というところで思い出した。ハムレット王子が言っていた——「この俺はたとい胡桃（くるみ）の殻に閉じこめられても、無限の空間の王者と思いこめるのだ」と（「悪い夢さえ見なければな」と続けているのが愛嬌であるが）。そうだ、図書館棟を含む九段麴町一帯をわれわれのキャンパスであると思いこめばよろしいのではないか。その広大なキャンパスのなかに位置づけられたら、現千代田キャンパスの図書館が遠くて不便だなどという感覚は消えるであろう。

新築成った本館E棟12階、登り立ち国見をすれば、国原には都市建造物の林立するのが見える。海原には遠く船舶の回遊するのが見える、ような気がする。九段麴町一帯を大妻千代田キャンパスと思いこむ。これをわれわれのGreater Campus 計画と呼ぶことにしようか。またの名を一大借景計画。さらに言い換えて、一大地域連携計画とするのはどうか、などと言う人が出てきたりすると、なにやら現実味を帯びてきて、賛否もあろうかと思われるので、想像だけでは我慢できない意見は取り合わないこととし、とりあえずは幻想のキャンパス拡張計画としたい。

いま、作戦本部よろしく、ただ一人、千代田区全図を拡げて瞑想している。南は国立劇場まで、北は靖国神社の緑を背負うことにしよう。西は日本テレビまでとし、東は千鳥ヶ淵を越えてその対岸まで、ということにしてはどうか。皇居は恐れ多いから、仮に幻想の上だけにしても侵犯するようなことがあってはならない。

この九段麴町地区はうまし国、たぶんほどよい文化施設と生活施設に恵まれている。国立劇場、国立近代美術館に工芸館、国立公文書館、科学技術館などが揃う。この地域の東西南北の外縁に一つずつよきホテルが位置している。千鳥ヶ淵、北の丸、外堀、靖国神社境内などは大人の散策に向く。手ごろな病院もある。まず縁はないであろうが、英国大使館を筆頭に大使館も多い。その他、数多くのレストラン、日本料理店、寿司屋に蕎麦屋、居酒屋、パブ、カフェにティールーム、数知れぬコンビニエンス・ストアに弁当屋。なかなか充実していると言える。難もないわけではない。書店は神保町を利用するからいいとして、デパートがないこと、お寺が目立たないこと。

しかし、居ながらにして利用できる、これだけ広大で、これだけ施設設備の整ったキャンパスは例がないのではないか。ここで心配種が一つある。われわれの拡大キャンパス内に東京K学院大学とN学舎大学が入ってしまうことだ。こんな計画が進んでいくと知れたら、両大学は立腹するにちがいない。しかし、そのときはそのとき、相互に併合し合い、うまし国を共有すればいいのではないか。

2014年度 総合情報センター業務報告

1. 総合情報センター運営委員会

- 1) 平成26年度 第1回総合情報センター運営委員会 (平成26年6月7日 於:千代田校)
- 2) 平成26年度 第2回総合情報センター運営委員会 (文書協議)

平成26年度 第1回総合情報センター運営委員会は、平成26年6月7日(土)に開催され、平成26年度事業計画予算採択結果※¹について報告がなされた。また、各グループの平成25年度業務報告、決算報告、平成26年度業務計画、予算案※²について審議を行い、了承された。

第2回総合情報センター運営委員会は、平成27年度総合情報センター事業計画申請(案)※³について、平成26年9月19日(金)から9月25日(木)に文書回覧で審議され、了承された。

※1 平成26年度事業計画予算採択結果

【図書館グループ】

◆要望に基づく執行承認内容

件 名	備 考
千代田校・多摩校 図書館システム機器更新及び整備	
多摩校 図書館メディアルームの機器更新及び整備	
図書館所蔵大妻良馬先生、大妻コタカ先生著書他、 資料のデジタル化	リポジトリ用コンテンツとして
図書館所蔵 貴重資料のデジタル化	
文献情報管理ツール「RefWorks」の導入	次年度以降 経常費

【メディア教育開発グループ】

◆要望に基づく執行承認内容

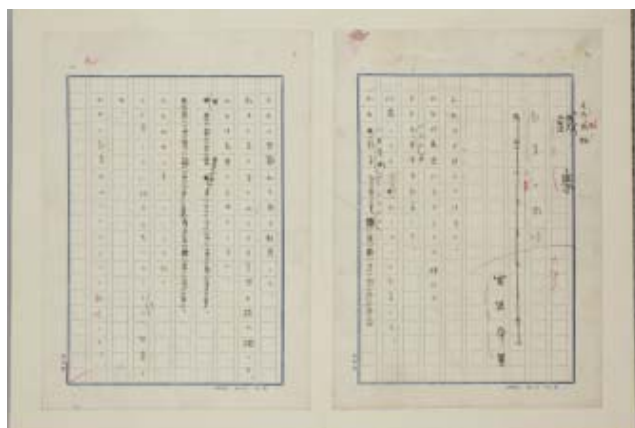
件 名	備 考
千代田校 大学校舎B棟 232 情報処理教室施設・設備更新	H25 年度前倒し着手承認済み (H26.2・3 月工事実施)
千代田校 大学校舎A棟及びC棟 増設視聴覚関連教室 Web カメラ設置	
千代田校 大学校舎D棟 スタジオ (517)ーゼミ室 (518) 新設に伴う Web カメラ設置及び遠隔操作対応	
コタカネットリプレイスのタイミングに合わせた 既存校舎視聴覚関連教室に於ける仮想ネットワークの構築	



2014年度 総合情報センター業務報告

◆「経常費」(扱い)の増・減

件 名	備 考
全学教育系情報システム年間保守 ①C棟情報処理教室(271・370・373)〔千代田〕 ②ファイルサーバ〔千代田・狭山台〕 ③ADサーバ更新〔千代田・狭山台・多摩〕	
多摩校 社会情報学部 情報処理関係教室 保守	
多摩校 比較文化学部 情報処理関係教室 保守	
多摩校 図書館棟 情報処理自習室 保守	



2014年度 総合情報センター業務報告

※2 平成26年度 予算案

単位:円

	図書館	メディア教育開発グループ			予算額合計
		千代田校	多摩校	狭山台校	
機 器・備 品 費	712,000	3,400,000	1,000,000	300,000	5,412,000
消 耗 品 費	2,200,000	3,626,000	2,506,000	400,000	8,732,000
修 繕 費	100,000	800,000	300,000	200,000	1,400,000
雑 費	300,000	200,000	150,000	30,000	680,000
ソ フ ト 費	0	700,000	600,000	30,000	1,330,000
通 信 費	800,000	100,000	50,000	40,000	990,000
印 刷・製 本 費	1,800,000	150,000	0	0	1,950,000
委 託 費	100,000	400,000	150,000	0	650,000
予 算 戻 り 分	0	▲ 600,000	0	0	▲ 600,000
合 計	6,012,000	8,776,000	4,756,000	1,000,000	20,544,000
		14,532,000			

平成26年度決算報告

単位:円

	図書館	メディア教育開発グループ			決 算	予 算
		千代田校	多摩校	狭山台校		
機 器・備 品 費	341,280	5,950,121	1,368,252	0	7,659,653	5,412,000
消 耗 品 費	2,815,452	2,290,507	1,559,986	59,735	6,725,680	8,732,000
修 繕 費	97,200	0	100,440	0	197,640	1,400,000
雑 費	314,774	197,118	630,473	10,680	1,153,045	680,000
ソ フ ト 費	0	353,484	1,013,256	0	1,366,740	1,330,000
通 信 費	288,413	31,127	29,767	29,838	379,145	990,000
印 刷・製 本 費	1,292,004	81,000	0	0	1,373,004	1,950,000
委 託 費	320,760	183,600	0	0	504,360	650,000
予 算 戻 り 分	0	▲ 367,284	0	0	▲ 367,284	▲ 600,000
合 計	5,469,883	8,719,673	4,702,174	100,253	18,991,983	20,544,000
		13,522,100				

注)平成26年度の決算は、平成27年6月6日(土)に開催された総合情報センター運営委員会で承認された。



2014年度 総合情報センター業務報告

※3 平成27年度事業計画予算申請

平成27年度事業計画予算として、図書館グループは7件、メディア教育開発グループは6件の申請を行った。なお、申請した13件については、これら全てを平成27年度事業計画予算として学院へ申請することが承認された。

【図書館グループ】

順 位	件 名	備 考
1	多摩校図書館入退館管理システムの導入	
2	多摩校図書館棟 3・4 階 図書館電動書架点検	
3	千代田校図書館地下 2 階上層・4 階 図書館電動書架点検	
4	千代田校図書館地下 1 階・1 階 マグネット対応掲示板の設置	
5	千代田校図書館所蔵 貴重資料のデジタル化	平成 22 年度からの継続事業
6	データベース「東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー」の導入	
7	千代田校図書館 AV・情報メディアルーム PC・プリンタリプレイス	

【メディア教育開発グループ】

順 位	件 名	備 考
1	多摩校 視聴覚教室 8 室設置 XP パソコンの Windows7 パソコンへの機種入替え	
2	千代田校 大学校舎 A 棟 簡易 AV 設備設置教室 8 室のアクティブラーニング授業対応化	
3	千代田校 大学校舎 A 棟 視聴覚教室 2 3 室設置 スクリーンの老朽化に伴うワイドスクリーンへの更新	
4	千代田校 大学校舎 A 棟 ゼミ室 4 室設置黒板のホワイトボード化	
5	千代田校 大学校舎 A 棟 視聴覚教室 3 室に対する VP 及びスクリーンの設置	
6	千代田校 大学校舎 B 棟 B232 情報処理教室施設・設備の年間保守契約	次年度以降経常費とする。

2. 総合情報センター年報 第 6 号(2013 年度)e-Book(電子書籍)形式にて発行

3. 総合情報センターホームページ維持・管理

URL < <http://www.cemit.otsuma.ac.jp/> >を参照のこと。

4. 大妻女子大学学術情報リポジトリの作成と公開の継続

5. 狭山台校閉校に伴う図書及び機器備品等整理及び移設

図書館グループ業務報告

業務記録

日 付	業 務	キャンパス
4/11 ～ 4/25	見学ツアー、MyOPAC 説明会	全館
5/7 ～ 5/23	データベース検索入門講座	千代田・多摩
6/7	第1回総合情報センター運営委員会	千代田
6/15	オープンキャンパス	千代田
6/22	オープンキャンパス	多摩
6/27	RefWorks 講習会	多摩
7/3	RefWorks 講習会	千代田
7/20	オープンキャンパス	千代田
7/27	オープンキャンパス	多摩
7/14 ～ 9/30	夏休み貸出	全館
8/2 ～ 8/3	オープンキャンパス	千代田
8/10	オープンキャンパス	多摩
9/9	図書館システム E-CatsLibrary リプレイス	全館
9/9	メディアルームのリニューアル	多摩
9/19 ～ 9/25	第2回総合情報センター運営委員会（文書協議）	
9/28	オープンキャンパス	千代田
10/11	日本文学科・国文科主催「新収図書資料展」へ資料貸出	千代田
10/18	オープンキャンパス	千代田
10/19	オープンキャンパス	多摩
10/20 ～ 11/8	読書週間特別企画「1人10冊まで貸出！」キャンペーン	全館
12/7	オープンキャンパス	千代田
12/8 ～ 1/16	冬休み貸出	全館
12/10	RefWorks 講習会	千代田
12/11	RefWorks 講習会	多摩
1/20 ～ 4/8	春休み貸出	全館
3/28	学科説明会	千代田
2011 年度～	NHK サービスセンター主催「宮沢賢治・詩と絵の宇宙」展へ資料貸出（返却：平成26年10月）	千代田



図書館グループ業務報告

千代田校展示記録

日 付	展示テーマ
4/7 ～ 4/30	大妻をもっと知ろう
5/7 ～ 6/30	アリソン・アトリーの世界
6/15	オープンキャンパス貴重書展示
7/2 ～ 7/31	七夕まつり 資料でたどる江戸の行事
7/20	オープンキャンパス貴重書展示
7/20 ～ 8/6	「夏に読みたい本」POP 応募作品展
8/2 ～ 8/3	オープンキャンパス貴重書展示
8/6 ～ 10/10	本の装い 作家のこだわり
9/27	ファッション誌の愉しみ
9/28	オープンキャンパス貴重書展示
10/15 ～ 11/15	シェイクスピアに魅せられて
10/18	オープンキャンパス貴重書展示
11/17 ～ 12/13	これって「源氏物語」？ 『源氏物語』から生まれた物語と絵
12/15 ～ 1/17	「おすすめの一冊」POP 応募作品展
12/16,18,20	和歌文学会例会関連貴重図書展示 八代集
1/7 ～ 1/31	映画、どうでしょう
2/10 ～ 2/28	文豪の原稿



図書館グループ業務報告 統計

1. 図書所蔵数

2015.3.31 現在 (単位:冊)

	千代田	狭山台	多 摩	合 計
和 書	158,348	75,825	103,307	337,480
洋 書	40,050	19,135	24,665	83,850
合 計	198,398	94,960	127,972	421,330

※製本雑誌を除く

2. 配置別図書受入数

(単位:冊)

	図 書						製本雑誌		合 計
	和 書	洋 書	消 耗		千鳥会	計			
			和 書	洋 書			和	洋	
千代田	1,864(39)	269(1)	480(5)	29(0)	403	3,045(45)	296	229	3,570
狭山台	31(2)	3(0)	40(1)	0(0)	58	132(3)	0	0	132
多 摩	1,691(26)	45(1)	388(6)	0(0)	451	2,575(33)	158	183	2,916
合 計	3,586(67)	317(2)	908(12)	29(0)	912	5,752(81)	454	412	6,618

※()内は寄贈図書 受入数には寄贈数を含む

3. 分類別図書受入数

(単位:冊)

	和 書				洋 書				合 計
	千代田	狭山台	多 摩	計	千代田	狭山台	多 摩	計	
0. 総 記	167	5	142	314	4	2	3	9	323
1. 哲学・心理学	79	4	175	258	6	0	2	8	266
2. 歴史・地理	168	12	122	302	38	1	3	42	344
3. 社会科学	555	24	747	1,326	62	0	12	74	1,400
4. 自然科学	161	4	220	385	2	0	2	4	389
5. 工 学	148	3	80	231	16	0	0	16	247
6. 産 業	104	1	58	163	0	0	0	0	163
7. 芸術・体育	148	4	106	258	4	0	8	12	270
8. 言 語	105	6	52	163	65	0	4	69	232
9. 文 学	593	46	179	818	72	0	11	83	901
そ の 他	519	20	649	1,188	29	0	0	29	1,217
合 計	2,747	129	2,530	5,406	298	3	45	346	5,752

平成 26 年度の新取図書を日本十進分類法 (NDC) によって分類したものである。

前年度に比べ全体的に受入数が減っている。それは前年度から引き続き各学科の予算が減額されたことと、狭山台校が今年度で閉校するため新規受け入れを控えたことによる。

4. 図書受入数の推移

(単位:冊)

		2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
和 書	千 代 田	3,495	3,196	3,688	3,293	2,747
	狭 山 台	796	701	458	340	129
	多 摩	3,626	3,195	3,313	2,847	2,530
	計	7,917	7,092	7,459	6,480	5,406
洋 書	千 代 田	398	453	752	311	298
	狭 山 台	6	5	11	9	3
	多 摩	203	93	31	69	45
	計	607	551	794	389	346
合 計		8,524	7,643	8,253	6,869	5,752

※製本雑誌を除く

5. 視聴覚資料所蔵数

2015.3.31 現在(単位:点)

	視聴覚資料
千代田	2,485
狭山台	783
多摩	3,745
合計	7,013

6. 視聴覚資料受入数

(単位:点)

	CD	ビデオテープ	DVD	合計
千代田	14	0	79	93
狭山台	2	0	13	15
多摩	2	0	43	45
合計	18	0	135	153



図書と同様に、各学科の予算減額と狭山台校閉校の影響で前年度に比べ受入数が半分以下に減っている。

7. その他資料受入数

(単位:点)

	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	CD-ROM	DVD-ROM	合計
千代田	0	0	9	11	20
狭山台	0	0	0	0	0
多摩	0	0	3	0	3
合計	0	0	12	11	23

8. 所蔵逐次刊行物タイトル数 2015.3.31 現在(単位:種)

	千代田	狭山台	多摩	タイトル合計
和雑誌	3,634	833	1,258	4,855
洋雑誌	726	488	430	1,474
合計	4,360	1,321	1,688	6,329

9. 分類別継続購入逐次刊行物タイトル数

2015.3.31 現在(単位:種)

	和雑誌				洋雑誌				タイトル合計
	千代田	狭山台	多摩	タイトル数	千代田	狭山台	多摩	タイトル数	
0. 総記	70	24	56	91	27	3	16	36	127
1. 哲学・心理学	5	1	14	17	7	1	9	16	33
2. 歴史・地理	12	1	15	23	9	0	11	19	42
3. 社会科学	102	8	88	170	42	0	48	82	252
4. 自然科学	39	1	24	56	29	0	11	38	94
5. 工学	49	14	26	73	12	1	6	18	91
6. 産業	5	4	7	13	3	0	1	4	17
7. 芸術・体育	31	5	15	40	7	0	1	8	48
8. 言語	12	6	7	15	52	0	4	52	67
9. 文学	68	15	25	77	55	0	4	58	135
合計	393	79	277	575	243	5	111	331	906

※タイトル数およびタイトル合計は重複を除く

10. 契約電子ジャーナル・データベース一覧

契約電子ジャーナル		契約データベース	
Science Direct		新聞記事等	聞蔵Ⅱビジュアル
JSTOR			毎日 News パック
EBSCOhost/Academic Search Elite			ヨミダス歴史館
日経 BP 記事検索サービス			日経テレコン 21
			Library PressDisplay
			The Times (London) / Sunday Times (London)
			Times Literary Supplement (TLS) Historical Archive 1902-2009
			JJJI-Web
		雑誌論文等	雑誌記事索引集成データベース
			大宅壮一文庫 雑誌記事索引検索 Web 版
			ジャパンナレッジ Lib
			医中誌 Web
			Westlaw Japan(日本法データベース)
			MLA International Bibliography
			Literature Resource Center
			ProQuest Dissertations & Theses (人文社会系)
			Marquis Biographies Online
			CSA linguistics and language behavior abstracts
			Ben Jonson online

11. 図書費決算報告

2015.3.31 現在 (単位 : 円)

		予算額	執行額	残 額
家 政 系	被 服 学 科	2,298,500	1,857,145	441,355
	食 物 学 科	2,298,500	2,172,215	126,285
	児 童 学 科	2,298,500	2,295,575	2,925
	ラ イ フ デ ザ イ ン 学 科	2,298,500	1,728,632	569,868
	短 大 ・ 家 政 科	2,271,000	1,829,185	441,815
文 系	日 本 文 学 科 ・ 国 文 科	12,664,000	12,660,323	3,677
	英 文 学 科 ・ 英 文 科	11,070,000	11,067,756	2,244
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 文 化 学 科	6,469,000	6,385,196	83,804
文 系 ・ 家 政 系 共 通		8,615,000	8,613,055	1,945
多 摩	社 会 情 報 学 部	5,680,800	5,611,715	69,085
	人 間 関 係 学 科	2,670,700	2,504,579	166,121
	人 間 福 祉 学 科	1,599,100	1,384,205	214,895
	比 較 文 化 学 部	7,587,900	7,551,144	36,756
	共 通	6,401,500	6,398,742	2,758
人 間 生 活 文 化 (研)		400,000	314,374	85,626
図 書 館		7,926,470	7,923,221	3,249
合 計		82,549,470	80,297,062	2,252,408

※日本文学科・国文科予算額：11,902,000 円＋762,000 円(戦略的個人研究費からの補助 平成 27 年 1 月 20 日 学長承認済)
 ※博物館 (69,830 円)、キャリア教育センター (140,660 円)、教職総合支援センター (140,660 円)、国際センター (281,320 円) の計 632,470 円は図書館に含む

12. 高額資料一覧

(単位:円)

形態	書名	数量	金額(税込)	配置
巻子本	尊円親王筆古今和歌集(能勢切)	1巻	4,644,000	千代田
データベース	日経テレコン 21	フリー	1,885,680	
データベース	Literature Resource Center	1アクセス	1,755,874	
和装本	義経虎巻	3冊セット	1,512,000	千代田
データベース	Academic Search Elite	フリー	995,900	
データベース	聞蔵II ビジュアル	2アクセス	902,016	
データベース	ジャパンナレッジ Lib	2アクセス	673,920	
データベース	日経 BP 記事検索サービス	フリー	648,000	
データベース	Library Press Display	3アクセス	513,040	
データベース	医中誌 Web	3アクセス	486,000	千代田・多摩
データベース	ヨミダス歴史館	1アクセス	466,560	
データベース	Times Literary Supplement (TLS) Historical Archive 1902-2009	フリー	432,514	
データベース	雑誌記事索引集成データベース	5アクセス	388,800	
電子ジャーナル	Proceedings of the National Academy of Sciences	フリー	384,061	
書簡	梶井基次郎自筆書簡	1通	380,000	千代田
洋雑誌	The Japan weekly mail : a political, commercial, and literary journal, 1870-1917	Vol.53-58	322,148	千代田
データベース	JILI-Web	1アクセス	311,040	
電子ジャーナル	JSTOR Arts & Science I Collection	フリー	307,361	
データベース	ProQuest Linguistics and Language Behavior Abstracts	フリー	303,634	
合計			17,312,548	

30万円以上で購入した資料を掲載した。前年度から続く円安の影響で、英文学科で契約していたデータベース1点の購入を中止した。

13. 開館日数

(単位:日)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
千代田	277	286	287	285	283
狭山台	257	266	268	265	224
多摩	276	279	283	283	281

天災(台風)による臨時休館は1日のみで、千代田校・多摩校はほぼ通常通り開館できた。狭山台校はキャンパス閉校のため、1月末までの開館であった。
千代田校では平成27年1月13日(火)～1月27日(火)の平日開館時間を1時間延長し午後8時まで開館した。

14. 入館者数

(単位:人)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
千代田	59,656	59,980	52,685	46,286	39,842
狭山台	21,152	19,238	19,041	16,863	15,636
多摩	53,625	50,850	50,167	52,766	52,542

15. 学部別館外貸出人数

(単位:人)

家政学部	文学部	社会情報学部	人間関係学部	比較文化学部	大学院(千代田・多摩)	短期大学部
3,054	5,299	1,564	3,112	2,541	324	1,237

16. 貸出冊数推移

	年度	冊数	人数
千代田	2010年度	18,337	10,252
	2011年度	19,540	10,596
	2012年度	17,065	9,234
	2013年度	16,281	8,813
	2014年度	16,405	8,935
狭山台	2010年度	7,604	4,286
	2011年度	5,301	3,125
	2012年度	4,822	2,902
	2013年度	3,714	2,160
	2014年度	3,786	2,359
多摩	2010年度	16,020	8,470
	2011年度	15,598	8,332
	2012年度	16,780	8,516
	2013年度	17,646	8,891
	2014年度	16,061	8,314

千代田校・狭山台校では入館者が昨年より減っているにもかかわらず貸出冊数・人数共に増えている。授業の課題に取り組むため来館した学生の貸出が多いようである。
多摩校は貸出冊数・人数共に減少した。しかし千代田校図書館を利用する多摩校生が多く見られた。

図書館グループ業務報告 統計

17. 逐次刊行物利用統計

	所 属		冊 数	人 数
千代田	家 政 学 部	被服	89	14
		食物	63	41
		児童	74	18
		ライフデザイン	18	13
	文 学 部	日文	1,263	634
		英文	46	26
		ｺﾐ文	293	64
	多 摩		18	11
	短 大	家政	3	1
		国文	16	10
		英文	17	8
	大学院		96	47
	教職員		318	129
	その他		234	41
小 計		2,548	1,057	

	所 属	冊 数	人 数
多 摩	社会情報学部	102	77
	人間関係学部	172	130
	比較文化学部	100	82
	千代田	0	0
	大学院	4	4
	教職員	123	58
	その他	0	0
	小 計	501	351
	合 計	3,049	1,408

※バックナンバーのみ

※狭山台校は開架のため統計実施せず

※その他には中高・非常勤含む

千代田校では平成26年度、利用人数が減少しているのに利用冊数は増えている。授業と連動して利用されているようである。多摩校では利用人数、利用冊数ともに前年度より増加した。特に社会情報学部の学生の利用が5倍ほどに増えている。

18. 視聴覚資料利用点数

(単位：点)

	ビデオテープ	CD	DVD	LD	音声テープ	合 計
千 代 田	9	11	751	0	0	771
狭 山 台	5	3	93	14	0	115
多 摩	19	47	1,236	0	0	1,302

※所蔵・持込合計

千代田校では前年度に引き続き、授業と連動してDVDが利用されている。

狭山台校では利用が減少した。バスの待ち時間を過ごす学生が、エントランスの大型画面の映像を見ていたためであろう。

多摩校では利用が増加した。夏にメディアルームリプレイスがあり、視聴覚機器と座席・PCが新しくなったことも増加の理由に考えられる。

19. 学外相互協力

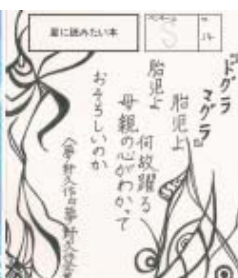
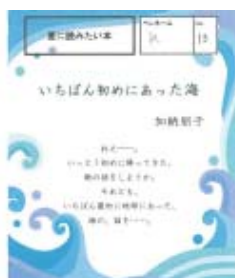
(単位：件)

		2012年度			2013年度			2014年度		
		紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借
千代田	依頼	12	97	8	15	91	4	16	70	2
	受付	21	66	0	23	65	0	12	38	0
狭山台	依頼	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	受付	0	1	0	0	0	0	0	7	0
多 摩	依頼	5	201	7	9	238	7	15	160	7
	受付	3	24	0	1	10	0	1	4	0
合 計	依頼	17	298	15	24	329	11	31	231	9
	受付	24	91	0	24	75	0	13	49	0

POP 募集 応募作品(千代田)

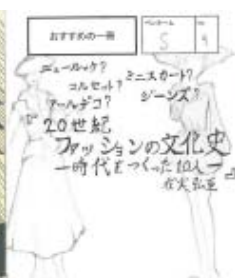
第1回 「夏に読みたい本」

6月25日～7月19日



第2回 「おすすめの一冊」

11月25日～12月13日



図書館グループ業務報告 ラーニング コモンズ・イベント (千代田)

	日時	タイトル	講師
第 1 回	4 月 26 日 (土)	遊びの心理—遊びは「やる気スイッチ」を on にする？	人間関係学部人間関係学科 八城薫 准教授
第 2 回	5 月 31 日 (土)	「グレイ・ラビット」の本を囲んで ～アトリーの動物ファンタジー～	短期大学部 中野節子 名誉教授
第 3 回	6 月 28 日 (土)	ピラティス入門～カラダのしくみを学んで実践～	日本文学科・国文科 海老原有希 助手
第 4 回	7 月 15 日 (火)	天上の恋物語—万葉集七夕歌の世界—	文学部日本文学科 倉住薫 専任講師
第 5 回	9 月 27 日 (土)	「ファッションのチカラ」 — 動作を引き起こす仕掛け・ひらめきへの誘い —	家政学部被服学科 大網美代子 専任講師
第 6 回	10 月 25 日 (土)	現代に生きるシェイクスピアのことは	文学部英文学科 小林昌夫 教授
第 7 回	11 月 22 日 (土)	透明マントの物理学	社会情報学部社会情報学科 落合友四郎 准教授
第 8 回	12 月 6 日 (土)	味噌・醤油のふしぎ発見 万能調味料を知る！	大妻女子大学 角田潔和 非常勤講師 短期大学部家政科 松本憲一教授 (コーディネーター)

第 1 回

遊びの心理
- 遊びは
「やる気スイッチ」を
on にする？ -

八城薫 准教授



第 2 回

「グレイ・ラビット」の
本を囲んで
- アトリーの動物
ファンタジー -

中野節子 名誉教授



第 3 回

ピラティス入門
- カラダのしくみを
学んで実践 -

海老原有希 助手



図書館グループ業務報告 ラーニング コモンズ・イベント (千代田)

第4回

天上の恋物語
- 万葉集七夕歌の
世界 -

倉住薫 専任講師



第5回

「ファッションのチカラ」
- 動作を引き起こす
仕掛け・ひらめきへの
誘い -

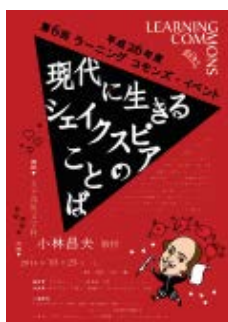
大網美代子 専任講師



第6回

現代に生きる
シェイクスピアの
ことば

小林昌夫 教授



第7回

透明マントの
物理学

落合友四郎 准教授



第8回

味噌・醤油の
ふしぎ発見
万能調味料を知る！

角田潔和 非常勤講師
(コーディネーター
松本恵一教授)



メディア教育開発グループ業務報告

メディア教育開発グループでは、3キャンパスの語学関係教室（CALL・LL）、視聴覚教室、情報処理実習室、情報処理自習室や授業用情報システムの維持・管理・運用を担当し、それらの施設・設備を利用して行われる授業や学生の主体的学習が効率的、効果的に行われるよう支援を行った。

学内システムのうち、教育用情報システムについてはメディア教育開発グループが担当しており、そのために必要なネットワークの維持・管理・運用を行った。視聴覚機器やパソコン、ネットワークなどに関する教員・学生からの問い合わせ（学生指導含む）については、ヘルプデスク業務として対応した。

また、教材制作業務として、主に視聴覚教材の制作及び制作支援、各種素材のデジタル化を行っており、具体的には、ビデオ収録・編集、PC再生用の音声・映像データの制作、紙原稿・スライド等のデジタルデータ化・データ変換などを行った。印刷関係では、拡大印刷を中心に作成を行った。

1. 授業支援

1) 情報処理・語学関係実習室における授業への支援

《千代田校・多摩校・狭山台校共通》

- ・統合認証システム（ADサーバ）の設計、維持管理、運用
- ・ファイルサーバの設計、維持管理、運用（学生用・教員用ホームフォルダ、Publicフォルダ設定等）
- ・情報処理関連教室施設、設備の設計、維持管理、運用
- ・プリンタ履歴システムの設計、維持管理、運用
- ・情報処理教室等利用アカウントの発行、管理
- ・教員貸出用大妻Webメールアドレス管理
- ・教員、職員、学生等への情報処理関連教室施設・設備に関する取扱説明

《千代田校・狭山台校情報処理教室》

- ・情報処理関係科目（全学共通科目）担当授業補助員のリクルート及び労務管理
- ・情報処理関連教室、情報処理自習室ホームページ（教室利用の手引き）更新
- ・授業補佐

《多摩校情報処理関係教室（社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部）関係》

- ・実習室用ホームページ更新
- ・教師用「実習室利用の手引き」作成
- ・コンピュータシステム運営委員会（社会情報学部）

[教室使用状況]

千代田校		前 期	後 期
情報処理教室	5 教室	53 時限／週	50 時限／週
CALL 教室	3 教室	15 時限／週	15 時限／週
教職実践演習室	1 教室	7 時限／週	11 時限／週
多 摩 校		前 期	後 期
情報処理実習室	4 教室	66 時限／週	64 時限／週
情報処理・LL 教室	5 教室	64 時限／週	60 時限／週
LL 教室	1 教室	12 時限／週	12 時限／週
PC 兼用教室	1 教室	11 時限／週	14 時限／週
理科実験室	1 教室	6 時限／週	4 時限／週
狭山台校		前 期	後 期
情報処理教室	1 教室	13 時限／週	11 時限／週
CALL 教室	1 教室	14 時限／週	13 時限／週

（上記時限以外に不定時の利用による授業支援あり）

2) 視聴覚教室における授業への支援

- ・視聴覚教室施設、設備の設計、維持管理、運用
- ・教員、職員、学生へ視聴覚教室施設・設備に関する取扱説明

3) 遠隔授業等に関する支援

- ・FD講演会 平成26年7月4日 千代田校（E055教室）→ 多摩校（7114教室）
- ・教員採用試験第3次特別講座 平成26年11月1日 千代田校（E055教室）→ 多摩校（7114教室）

4) 普通教室、実験・実習室における授業への支援

- ・視聴覚機器の貸出し・操作説明等

5) スタジオ（千代田校D517教室）を利用する授業、研究の支援

- ・スタジオ設備の設計、維持管理、運用
- ・スタジオ利用授業の機器操作指導（教員・TA）、及び機器貸出し

2. ヘルプデスク

- 1) パソコン及びプリンタ等の設定及び不具合対応
- 2) ネットワーク関連機器接続の設定及び不具合対応
- 3) アプリケーションに関する導入支援、操作説明等
- 4) ウィルス対策（ソフトウェア導入支援・操作説明、ウィルス駆除等）
- 5) メール全般に関する支援（送受信、転送設定等）
- 6) 視聴覚教室等におけるパソコン接続（出力設定、ネットワーク接続等）に関する操作説明
- 7) 視聴覚教室等におけるAV機器（操作卓等）の操作説明
- 8) 学習支援システム（LMS）「manaba」の操作に関する支援

3. 授業以外への機器貸出し・操作説明など

- 1) 学内・学外団体関係（学会・講演会、講習会他）
- 2) 事務局関係（入学式、卒業式、オープンキャンパス、地域貢献イベント、各種ガイダンス、入試関係、文化祭等）

4. 情報処理自習室の維持・管理及び学生指導

千代田校	情報処理自習室（本館 E 棟地下 1 階）PC 席数：80 席	
	期 間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 月～土
	時 間	前期・後期授業期間 月～金 9：00～19：00 土 9：00～18：00 夏期・冬期休業期間 月～金 9：00～17：00 土 閉室 春 期 休 業 期 間 月～土 9：00～18：00
	利用者数	延べ 47,794 名
	パソコンコーナー（本館 E 棟 3 階・5 階）PC 席数：24 席（3 階：12 席、5 階：12 席）	
	期 間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 月～土
	時 間	月～土 8：30～20：00
	利用者数	延べ 18,260 名（3 階：10,424 名、5 階：7,836 名）
多摩校	情報処理自習室（図書館棟 2 階）PC 席数：60 席	
	期 間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日（授業実施期間のみ） 月～金
	時 間	通常 9：00～16：10
	利用者数	延べ 23,940 名

※ 情報処理自習室の他に関係教室を授業で使用していない時間は、自習用として開放している。

多 摩 校：比較棟 3225,3230 教室、社情棟 6215,6218,6254,6256,6312,6313,6315 教室、人間棟 7217,7237 教室
狭山台校：2 号館 451,456 教室



メディア教育開発グループ業務報告

5. 視聴覚及び情報処理関係施設、設備の維持管理、運用

1)管理施設

	千代田校	多摩校	狭山台校
視聴覚教室 (AV 機器設置教室)	77 教室	57 教室	16 教室
情報処理関係教室	5 教室	10 教室	1 教室
CALL / LL 関係教室	3 教室	1 教室	1 教室
大学院生室 (PC のみ)	1 室	—	—
大学院ミーティング室 (PC のみ)	1 室	—	—
教職実践演習室 (AV・PC のみ)	1 教室	—	—
理科実験室 (PC のみ)	—	1 教室	—
スタジオ	1 室	—	—
情報処理自習室	1 室	1 室	—
パソコンコーナー (本館 E 棟 3 階・5 階)	2 箇所	—	—



2)保守関係

千代田校	視聴覚関係教室 (東和エンジニアリング) 2 回 / 年 情報処理教室、CALL 教室、情報処理自習室 (内田洋行) 2 回 / 年
多摩校	視聴覚関係教室 (東和エンジニアリング) 2 回 / 年 情報処理関係教室 (内田洋行) 2 回 / 年 情報処理自習室 (大塚商会) 2 回 / 年
狭山台校	視聴覚関係教室 (東和エンジニアリング) 2 回 / 年 情報処理教室、CALL 教室 (内田洋行) 2 回 / 年

3)工事関係

多摩校：平成26年度事業計画予算申請による工事

- 学生会館大講義室音響設備更新
- 比較棟 A V 設備更新 (1 教室)
- 社情棟スクリーン移設工事 (4 教室)
- 人間棟 A V 設備新設工事 (4 教室)
- I P 変更工事 (49 教室)

平成27年度予算申請前倒し工事 (H27.2 着工)

- 人間棟情報処理・LL 教室機器更新 (2 教室)

4)千代田校新校舎建築関係

- ・ G 棟・H 棟 建築関係業務
- ・ 視聴覚教室設計、情報処理関連教室設計、その他



6. 教材制作

1)教材制作内容

種 別	内 容
録画、録音関係	撮影、録音、編集、整音、再生メディアの作成、等
静止画撮影関係	撮影、画像の補正・修正、メディア作成、等
PC 関係	PC 再生用のオーディオデータ・映像データの制作、紙原稿・スライド等のデジタルデータ化、データ変換・メディア変換・マークカード処理・オリジナル提示教材の制作、等
印刷関係	拡大印刷

2)教材制作の技術的支援

- ・ 教材を作成するソフト、機器等の導入支援、操作説明等
- ・ 教材提示方法の相談、支援

メディア教育開発グループ業務報告

3)各学部・学科などから依頼された主な教材の制作数

	千代田校	多摩校	狭山台校
音声関係	16本	4本	—
映像関係	518本	17本	72本
印刷関係	351枚	94枚	—
その他	218本	—	—

7. 情報戦略会議委員会関係

(情報戦略専門委員会、情報環境基盤専門委員会、情報セキュリティ専門委員会含む)
情報戦略会議委員会及び合同・各専門委員会出席

8. 私立大学情報教育協会(私情協)関係

- 1)会議及び研修会等案内の学内配布及び参加申込受付
- 2)通常総会及び臨時総会出席
- 3)アンケート調査等回答
- 4)機関誌学内配布
- 5)その他

9. 補助金及び各種調査への対応

- 1)平成25年度私立大学等経常費補助金に係る実績額等の確定報告（日本私立大学振興・共済事業団）
- 2)平成26年度学術情報基盤実態調査（文部科学省）
- 3)平成26年度私立大学等経常費補助金の交付申請に係る資料の提出（日本私立大学振興・共済事業団）
- 4)平成26年度東京都私立短期大学実態調査（東京都私立短期大学協会）
- 5)平成27年度私立大学高度情報化補助金活用調査（私立大学情報教育協会）
- 6)私立大学情報化投資額調査（私立大学情報教育協会）
- 7)平成26年度私立大学情報環境調査

10. 地域貢献イベントへの協力

- 1)あしなが東日本大震災・津波遺児募金チャリティコンサート『クリスマスコンサート ～Noël フランスの聖夜～』（打合せ、渉外、舞台進行、進行台本確認、記録撮影など）
- 2)大妻さくらフェスティバル2015（打合せ、渉外、舞台進行、進行台本確認、記録撮影など）

11. その他

- 1)平成26年度入学式関係業務（舞台進行、進行台本確認、各種音源作成、スライド映写、記録撮影など）
- 2)平成26年度卒業式関係業務（舞台進行、進行台本確認、各種音源作成、記録撮影など）
- 3)オープンキャンパスサポート（千代田校）
- 4)入学試験関係（一般入試、大学入試センター試験）
- 5)定期試験関係業務(試験監督)（狭山台校）
- 6)平成26年度大妻祭関係業務（打合せ、事前点検、機器貸出し、操作説明、事後点検など）
- 7)各種研修会などへの参加

メディア教育開発グループ業務報告 補完教育

メディア教育開発センターでは、正課外の「補完教育」として、すべてのキャンパスにおいて「課外英語力強化プログラム」と「課外パソコン講習」を実施・運営している。これらの講座は、本学学生に対して資格取得やスキル向上の機会を提供することを目的として開講されている。

1. 課外英語力強化プログラム

本講座は、学生が正課授業の履修状況にあわせて、毎日1コマ（40分）、週5日（月～金：年間100回）のスケジュールを各自で作成して受講するプログラムで、毎回の講座の他にも自由に講師と会話ができるEC（English Challenge）の時間が用意されている。講座内容は、インタラクティブな活動を中心としたグループレッスン（グループあたり最大12名）で構成されている。

平成26年度の担当講師は、アメリカ、イギリス、カナダ、ニュージーランドの出身者で、英語を母語としない人への英語教授資格（TESOL、TEFL、CELTA等）の有資格者である。また、講座内では、年2回（前期、後期各1回）TOEIC IPテストを実施している。TOEIC IPテストの受験については、各自の英語力を確認することを目的としており、なるべく多くの学生が受験し、その後の学習の参考とすることができるよう、講座開始と共に日程を決め受験者を募集している。このため、通常の講座とは別に、前述したECの時間を使って試験の傾向や対策を扱う講座も実施している。

また平成26年度より、グローバル人材育成支援のため大学から57,920円の補助が出ることとなった。

1) 実施要領等

		千代田校	多摩校	狭山台校
■ 定員		300 名	240 名	180 名
■ 講座案内配布		新入生：ガイダンス資料として自宅へ送付 在校生：新学期のガイダンスにて配布		
■ 説明会開催 レッスン内容、講座開講までのスケジュール説明 (募集要項配布) 及びサンプルレッスン実施 □ 内は参加者数		4月11日(金) [141名] 4月15日(火) [162名] 4月21日(月) [23名] ※4/21は追加実施	4月16日(水) [140名] 4月17日(木) [136名] 4月21日(月) [22名] ※4/21は追加実施	4月11日(金) [109名] 4月16日(水) [108名] 4月21日(月) [6名] ※4/21は追加実施
■ 受講申込 講座 HP にてオンライン申込 (新規生はクラス分けテスト有り) 及び希望スケジュール登録		4月11日(金)～4月22日(火) (最終日は23:59まで)		
■ 抽選結果連絡 申込者多数の場合は抽選を行う		4月23日(水) 12:00～18:00 頃メール、もしくは電話にて連絡		
■ 受講料		49,000 円 (教材費、消費税 [8%] を含む) ※通常 106,920 円、大学から 57,920 円の補助		
■ 受講料納付		4月23日(水) 13:00～4月28日(月) (最終日は15:00まで)		
■ 受講時間割公開		5月5日(月) (講座 HP にて)		
■ 開講日程	前 期	5月8日(木)～7月16日(水)		
	後 期	9月29日(月)～12月15日(月)	9月30日(火)～12月16日(火)	
■ 受講者数 () 内は前年度からの継続者数		225 名 (37 名)	213 名 (13 名)	135 名
		総計：573 名 (50 名)		
■ TOEIC 受験者数 () 内は 500 点以上	前 期 6/8(日)	37 名 (9 名) 最高 575 点	53 名 (0 名) 最高 495 点	39 名 (5 名) 最高 570 点
	後 期 11/30(日)	28 名 (7 名) 最高 595 点	39 名 (1 名) 最高 500 点	35 名 (7 名) 最高 600 点
	合 計	65 名 (16 名)	92 名 (1 名)	74 名 (12 名)
■ 設置クラス		Introductory：2 Basic：1 Pre-Intermediate：1	Introductory：2 Basic：1 Pre-Intermediate：1	Introductory：1 Basic：1
■ 使用教材		Fifty Fifty Intro (Pearson) Fifty Fifty Book 1 (Pearson) Four Corners 3 (CAMBRIDGE Univ. PRESS)		Fifty Fifty Intro Fifty Fifty Book 1
■ 担当講師の国籍	前 期	アメリカ、イギリス	イギリス、ニュージーランド、カナダ	イギリス、ニュージーランド
	後 期	アメリカ、イギリス	アメリカ、イギリス、カナダ	アメリカ、イギリス

2) クラス編成について

前期の場合、継続生は前年度の成績評価、新規生はクラス分けテストの結果に基づき、開講前にクラス編成を行うが、開講後に担当講師の評価や受講者の希望によって所属クラスを変更する場合もある。後期については、前期の成績に基づいてクラス編成を行う。前期と同様に後期開講後、担当講師の評価や受講者の希望によって所属クラスを変更する場合もある。1クラスは原則8名（最大12名）とし、幅広い英語を学ぶため、各クラス（レベル）を担当する講師は前期と後期で交代する事としている。

2. 課外パソコン講習

近年、文書作成やプレゼンテーション、また、コミュニケーションツールとしてPCを利用することは日常化しており、企業は自社への就職を目指す学生に対し、在学中に最低限のPCスキルを習得しておく事を求めていると言われている。しかしながら、PCを活用するための知識やスキルを体系的に学び、習得している学生数はかなり限られているという事実も判明している。

このため、本講座は学生の情報処理に関する知識の習得とPCスキルの向上、また、在学中に認定資格を取得させる事を目的として実施されている。この講座の授業は、平日の夕方や土曜日、夏期・春期などの長期休暇中に学内で実施されるため、学生は正課授業に支障をきたすことなく受講する事ができる。

平成26年度は、ビジネス能力認定試験やP検（ICTプロフィシエンシー検定試験）対策講座に加え、千代田校と多摩校にてMOS試験対策講座も実施した。

なお、各講座の最終回に試験を実施し、合格者には認定団体より認定証を発行している。

1)実施要領等

		千代田校	多摩校	狭山台校
■ 講座案内配布		新入生：ガイダンス資料として自宅へ送付 ガイダンス時、別資料の配布あり 在校生：新学期のガイダンスにて配布		
■ 説明会開催 講座内容、資格試験、講座申込みに関する説明の実施 □ 内は参加者数		4月11日(金) [57名] 4月15日(火) [62名] 4月17日(木) [83名] 6月23日(月) [17名] 6月27日(金) [19名] 7月1日(火) [26名] 7月3日(木) [30名] 9月16日(火) [7名] 9月18日(木) [9名] 9月22日(月) [8名] 12月1日(月) [25名] 12月3日(水) [15名] 12月4日(木) [16名]	4月14日(月) [60名] 4月16日(水) [56名] 4月18日(金) [64名] 6月24日(火) [12名] 6月26日(木) [13名] 6月30日(月) [11名] 7月2日(水) [15名] 9月16日(火) [0名] 9月17日(水) [12名] 9月19日(金) [12名] 12月2日(火) [18名] 12月3日(水) [16名] 12月5日(金) [24名]	4月14日(月) [20名] 4月17日(木) [11名] 4月18日(金) [17名] 6月25日(水) [4名] 7月4日(金) [2名] 9月17日(水) [1名] 9月18日(木) [9名] 12月4日(木) [1名]
■ 無料体験講座 □ 内は参加者数		4月21日(月) [8名] 4月23日(水) [13名] 4月25日(金) [3名] 7月8日(火) [3名] 7月11日(金) [2名] 16:40～17:40 (60分)		
■ 受講申込 空きがある場合に限り、 受付終了後サポートセンターにて随時受付		◆前期 4/21(月),23(水),25(金) 5/13(火),15(木),16(金) ◆夏期 7/8(火),11(金),14(月), 16(水) ◆後期 9/24(水),26(金),30(火) ◆春期 12/8(月),9(火),12(金), 1/8(木),14(水),16(金)	◆前期 4/22(火),23(水),24(木) ◆夏期 7/7(月),10(木),15(火), 17(木) ◆後期 9/24(水),25(木),26(金) ◆春期 12/9(火),10(水),11(木)	◆前期 4/23(水),24(木),25(金) ◆夏期 7/9(水),18(金) ◆後期 9/25(木),26(金) ◆春期 12/10(水),1/14(水)
■ 受講料		22,000円～35,000円（検定料、教材費を含む） ※ 検定のみ申込み可		
■ 受講料納付		銀行振込にて随時		
■ 開講日程	前 期	5/8(木)～7/26(土)	5/10(土)～7/18(金)	5/10(土)～7/26(土)
	夏 期	8/25(月)～9/12(金)	8/25(月)～9/12(金)	—
	後 期	9/30(火)～12/19(金)	10/4(土)～12/18(木)	11/22(土)～12/13(土)
	春 期	2/4(水)～3/13(金)	2/4(水)～3/13(金)	—
■ 受講者数 [延べ数] () 内は資格取得者数		365 名	297 名	23 名
		総計：685 名 (537 名)		

2)実施講座

千代田校	多摩校	狭山台校
◆ビジネス能力認定試験 Word3 級・2 級 Excel3 級・2 級 PowerPoint3 級	◆ビジネス能力認定試験 Word3 級・2 級 Excel3 級・2 級 PowerPoint3 級	◆ビジネス能力認定試験 Word3 級 Excel3 級
◆P 検 (ICT プロフィシエンシー検定試験) P 検 3 級・準 2 級・2 級	◆P 検 (ICT プロフィシエンシー検定試験) P 検 3 級・準 2 級・2 級	◆P 検 (ICT プロフィシエンシー検定試験) P 検 3 級
◆MOS Word スペシャリスト・エキスパート Excel スペシャリスト・エキスパート PowerPoint	◆MOS Word スペシャリスト・エキスパート Excel スペシャリスト・エキスパート PowerPoint	—

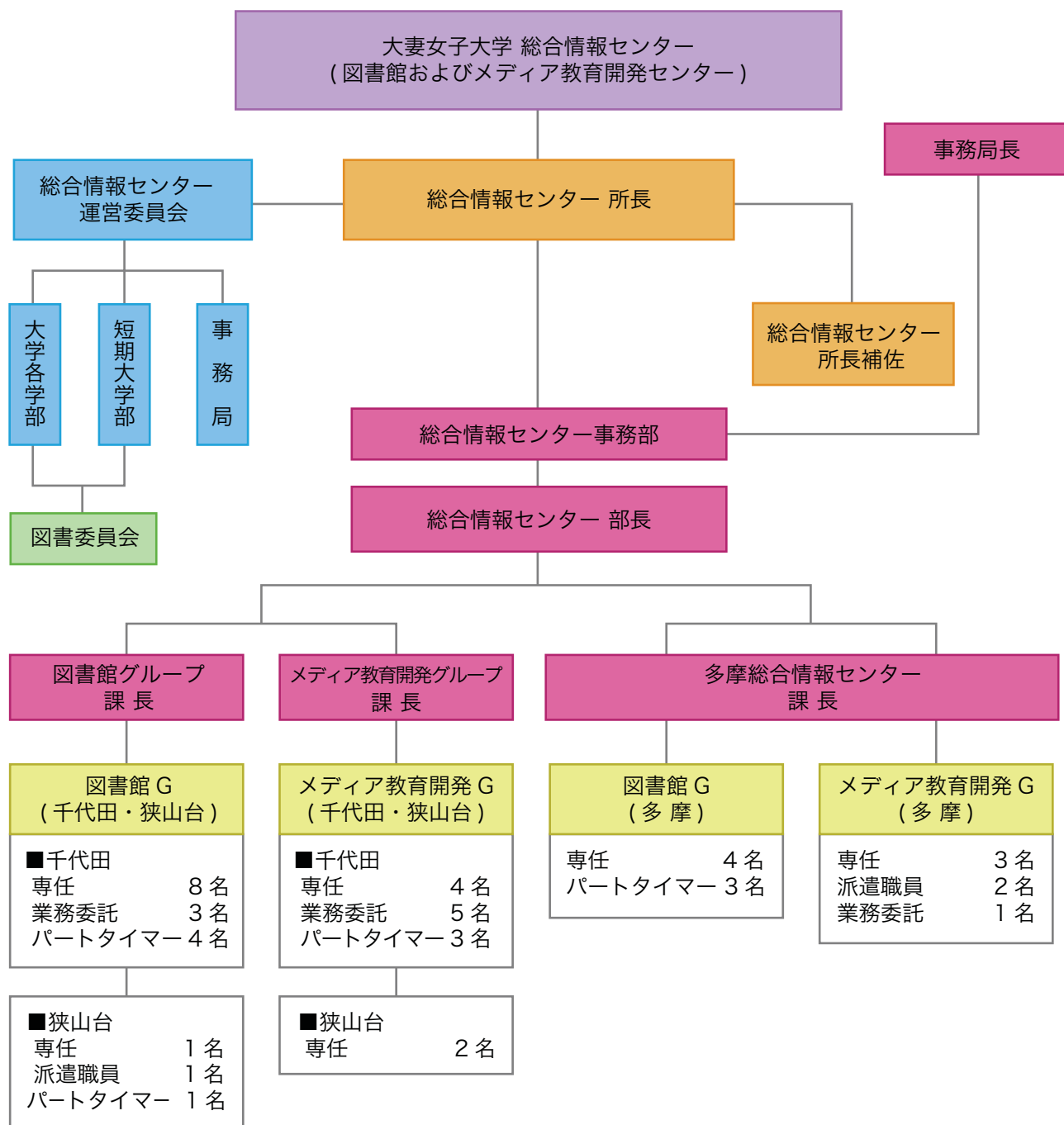
3)資格取得状況

講座名	取得資格 【 】 内は資格試験主催団体	受講者数	合格者数
◆ビジネス能力認定試験 Word 3 級 Word 2 級 Excel 3 級 Excel 2 級 PowerPoint 3 級	【ソフトウェア活用能力認定委員会】 Word 文書処理技能認定試験 3 級 Word 文書処理技能認定試験 2 級 Excel 表計算処理技能認定試験 3 級 Excel 表計算処理技能認定試験 2 級 PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験初級	116 名 10 名 116 名 16 名 5 名	72 名 9 名 100 名 12 名 5 名
◆P 検 P 検 3 級 P 検準 2 級 P 検 2 級	【ICT プロフィシエンシー検定協会】 ICT プロフィシエンシー検定試験 3 級 ICT プロフィシエンシー検定試験準 2 級 ICT プロフィシエンシー検定試験 2 級	29 名 28 名 7 名	28 名 25 名 4 名
◆MOS Word スペシャリスト Word エキスパート Excel スペシャリスト Excel エキスパート PowerPoint	【オデッセイ】 MOS Word スペシャリスト MOS Word エキスパート MOS Excel スペシャリスト MOS Excel エキスパート MOS PowerPoint	112 名 18 名 196 名 25 名 7 名	86 名 14 名 155 名 20 名 7 名



2014年度 総合情報センター組織

2014年4月1日現在



大妻女子大学 総合情報センター規程

平成20年5月29日制定

平成22年7月27日改訂

平成25年4月22日改訂

(趣旨)

第1条 この規程は、大妻女子大学学則(昭和48年4月1日制定)第39条第3項及び大妻女子大学短期大学部学則(昭和49年4月1日制定)第39条第2項の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター(以下「センター」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、大妻女子大学及び大妻女子大学短期大学部(以下「大学及び短期大学部」という。)共通の附属施設として、教育・研究に必要な図書、電子情報、その他各種資料(以下「図書資料」という。)を収集、所蔵し、教職員、学生等の利用に供するとともに、情報メディア環境を活用した教育・学習活動等への支援と、そのために必要な開発業務を行うことをもって、本学の教育・研究の充実発展に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 図書資料の収集、組織化、保管、利用者への提供、及び図書館間の相互利用に関する業務
 - (2) 大学及び短期大学部、並びに学校法人大妻学院(以下「学院」という。)が関与する著作権に関する業務
 - (3) 大学及び短期大学部教員に関する教育・研究用データベースの構築と教育・研究用外部資金確保に関する業務
 - (4) 情報メディア教育システムの企画・開発、維持・管理、安定的な運用及びセキュリティ維持に関する業務
 - (5) ネットワークなどの情報メディア環境を利用した教育・学習活動への支援とそれらに必要な開発業務
 - (6) 教職員に対する情報処理及び情報メディア教育関連の講習に関する業務
 - (7) 学生に対する情報処理及び情報メディア等の補完教育の計画、立案並びにこれらに関する業務
 - (8) 学院の要請による情報処理及び情報メディアに関する業務
 - (9) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する業務
- 2 前項の業務を行うため、センターに図書館とメディア教育開発センターの2施設及び総合情報センター事務部(以下「事務部」という。)を置く。事務部に図書館グループとメディア教育開発グループを置く。

(組織)

第4条 センターに次の教職員を置く。

- (1) 所長1名
 - (2) 事務部部长1名
 - (3) 事務部課長若干名
 - (4) 事務部職員
- 2 所長は、本学専任教授の中から学長が任命する。任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 3 所長は、事務部を統轄し、センターの業務を掌理する。また、所長に事故のあるときは、所長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。
- 4 センターに所長補佐を置くことができる。

(運営委員会)

第5条 センターの管理・運営の円滑化、効率化を図るため、センター運営委員会を置く。

- 2 センター運営委員会の規程は、別に定める。

(運営細則への委任)

第6条 この規程に定めるもののほか、センターの管理・運営について必要な事項は、別に定める。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、センター運営委員会の議を経て大学運営会議において定める。

附 則

- 1 この規程は、平成20年5月29日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
- 2 大妻女子大学図書館規則(昭和60年4月1日制定)及び大妻女子大学情報メディアセンター規程(平成13年5月25日制定)は、廃止する

附 則

この規程は、平成22年7月27日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程

平成20年6月13日制定
平成23年6月 4日改訂
平成25年4月22日改訂
平成25年6月11日改訂

(趣旨)

第1条 この規程は、大妻女子大学総合情報センター規程（平成20年5月29日制定）（以下「センター規程」という。）第5条第2項の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定める。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 総合情報センター（以下「センター」という。）の運営の方針及び大綱に関する事項
- (2) センター規程及びセンター運営委員会規程等の改廃に関する事項
- (3) センターの運営に関する予算の大綱に関する事項
- (4) 図書資料収集と管理の基本方針に関する事項
- (5) 情報処理及び情報メディア教育に関する施設設備の整備に関する事項
- (6) その他センターの運営に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター所長
 - (2) 家政学部長、文学部長、社会情報学部長、人間関係学部長、比較文化学部長及び短期大学部長
 - (3) 大学院研究科長
 - (4) 各学部及び短期大学部から選出された専任教員各2名
 - (5) 事務局長、教育支援センター部長、学生支援センター部長、多摩事務部長及び狭山台校事務長
 - (6) センター事務部部長、課長
 - (7) その他所長の委嘱する者若干名
- 2 前項第4号及び第7号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 学長及び副学長は、必要に応じて委員会に出席することができる。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長を置く。

- 2 委員長は、センター所長をもって充てる。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 委員長に事故のあるとき、または委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取する事ができる。
- 3 委員会には、センター規程第3条の内容を検討するため、部会を置くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、センター事務部において処理する。

(補則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員会において定める。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、委員会の議を経て、大学運営会議で定める。

附 則

- 1 この規程は平成20年6月13日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
- 2 大妻女子大学図書館運営委員会規程（昭和60年6月1日制定）及び大妻女子大学情報メディアセンター運営委員会規程（平成13年5月25日制定）は、廃止する。
- 3 平成20年度については、従前の図書館運営委員と情報メディアセンター運営委員を、本規程第3条第3号の委員とする。
- 4 この規程は平成23年6月4日から施行する。

附 則

この規程は平成25年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は平成25年6月1日から施行する。
- 2 大妻女子大学図書委員会規程（昭和60年6月1日制定）は、廃止する。

総合情報センター図書館グループ及びメディア教育開発グループ 沿革

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学 院
1949 年 S24 年	初代館長 清水福市 (S24.4-S45.9)	4 月 大妻女子大学の新制大学移行と同時に 発足旧校舎 2 階に設置開架閲覧方式		大妻女子大学設置（家政学部被服学 科・食物学科・家庭理学科・別科）
1957 年 S32 年		3 月 書庫充満のため書架増設		
1967 年 S42 年		4 月 狭山台校開学 狭山台校分館発足 校舎 3 階	文学部英文学科内に音声言語教育のための機器、 教材整備・充実のため「LL 研究室」設置	狭山台校開設 文学部国文学科・英文学科、 短期大学部国文科、英文科設置
1968 年 S43 年				大妻女子大学創立 60 周年記念式典挙 行（日本武道館）
1970 年 S45 年	館長 加藤菊雄 (S45.9-S49.3)	9 月 千代田校本館完成図書館も本館1～2階に移動 開架閲覧方式に移行、学生用複写機稼動	教育・研究への視覚的手法導入に対する熱意の高 まりにより、全学的組織「視覚教育専門委員会」開催	千代田校舎図書館棟新築完成 図書館研究室本館新築
1971 年 S46 年	初代所長 天野一夫 (S46.4-S49.3)		「視覚教育センター」設立 設立に伴い「視覚教育専門委員会」を「視覚教育運 営委員会」に改称。各学部で管理していた視覚機器を 視覚教育センターで一元管理する。 AAC 型 LL（カブリ・オブジェクト型）教室設置→LL 授業開始	
1972 年 S47 年			千代田校に「教材制作部」「サービス部」、狭 山台校に「サービス部」を設置	千代田校記念会館竣工
1973 年 S48 年			授業にビデオ教材を使用するため貸出用機器 の充実	
1974 年 S49 年	館長 廣田榮太郎 (S49.4-S49.5) 館長 黒田巍 (S49.11-S50.3) 所長 渡辺修 (S49.4-S59.3)			
1975 年 S50 年	館長 吉田精一 (S50.4-S51.3)		16 ミリ発声映写機操作講習会実施	
1976 年 S51 年	館長 黒田巍 (S51.4-S53.3)			
1978 年 S53 年	館長 小幡弥太郎 (S53.4-S56.3)	狭山台校分館 増築増床		大妻女子大学創立 70 周年記念式典 挙行（日本武道館）
1981 年 S56 年	館長 吉田精一 (S56.4-S59.3)			大妻女子大学人間生活科学研究所設置
1982 年 S57 年			千代田校 AAC 型 LL 教室をカブリ型に改修	
1983 年 S58 年		5 月 狭山台校分館 保存書庫竣工		狭山台校保存書庫棟竣工
1984 年 S59 年	館長 仙波千代 (S59.4-S63.3) 所長 仙波千代 (S59.4-S60.3)		狭山台校 AAC 型 LL 教室をカブリ型に改修	
1985 年 S60 年	所長 磯田浩 (S60.4-S61.3)		「情報処理・視覚教育センター」に名称変更	
1986 年 S61 年	所長 仙波千代 (S61.4-S63.3)			千代田校 A 棟、大妻体育館竣工
1987 年 S62 年				
1988 年 S63 年	館長 加藤憲一 (S63.4-H23) 所長 坂下潔 (S63.4-H53)	4 月 多摩校開学 図書館棟 4 階に多摩校分館 発足	多摩キャンパス開校に伴い 情報処理・視覚教育センター「サービス部」設置 多摩校でパソコン使用の授業が始まり情報処理関係 教室の管理実施 LL 教室 1 教室、情報処理教室 1 教室、スタジオ等設置	多摩校開設 短期大学部 (生活科、日本文学科、実務英語科) 設置 千代田校 B 棟竣工
1989 年 H 元年				大妻女子大学創立 80 周年記念式典 挙行（日本武道館）
1990 年 H2 年	館長 隈部直光 (H2.4-H4.3)			千代田校旧校舎閉鎖 C 棟竣工
1991 年 H3 年			千代田校教養科目『情報処理概論』の授業開 講のためサポート開始	
1992 年 H4 年	館長：伊藤博 (H4.4-H8.3)	9 月学長の諮問により、図書館及び情報処理・視覚教育センター合同運営委員会を開催し、情報処理・視 覚教育センターの改革案を審議する。 結果、情報処理・視覚教育センターサービス部門と社会情報学部計算機室を合併、「情報処理教育センター」 とする。 千代田校の教材制作部は「教育工学開発室」とする。 図書館は現スタッフのレベルアップをはかりながら、視覚資料の整備、情報システムを活用した他大学との 学術情報交流を推進する。 社会情報学部棟内に LAN 敷設		社会情報学部社会情報学科設置 千代田校 D 棟、大妻講堂竣工

総合情報センター図書館グループ及びメディア教育開発グループ 沿革

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学 院
1993 年 H5 年	所長 磯田浩 (H5.4-H6.3) 初代室長 伊平保夫 (H5.4-H12.3)		「情報処理教育センター」設立 2 部門 4 部署 千代田校・狭山台校にサービス部門、多摩校に計算機部門・サービス部門を設置 「教育工学開発室」設立（千代田校） ネットワーク名称を「KOTAKA-net」と命名 多摩校・TRAIN（東京地域からネットワーク）接続 千代田校 A 棟視聴覚教室を映像ネットワークにより接続	
1994 年 H6 年	所長 野崎昭弘 (H6.4-H8.3)	4 月 図書館ネットワーク開始 8 月 千代田校本館 1 階改修工事 10 月 卒論・卒研のための図書館利用指導開始		
1995 年 H7 年		2 月 千代田校本館 2 階改修工事 視聴覚コーナー設置 4 月 図書館ソナー等の利用指導開始 7 月～ 電算化 CALIS システム事務用本移動		
1996 年 H8 年	館長 野崎昭弘 (H8.4-H10.3) 所長 白川利昭 (H8.4-H12.3)	4 月 CALIS 閲覧システム本移動・BDS 装置 3 館に設置 5 月 狭山台校分館新図書館開館（旧研究棟を改修）	多摩校・千代田校ダイヤルアップ接続 KOTAKA-net 開始	狭山台校図書館棟竣工
1997 年 H9 年			情報処理教育センター主催による英検対策講座、パソコン対策講座開催（千代田校）	
1998 年 H10 年	館長 江本裕 (H10.4-H14.3)			大妻女子大学創立 90 周年記念式典挙行 （東京国際フォーラム）
1999 年 H11 年			千代田校 C 棟情報処理実習室 "KOTAKA-net" へ接続	人間関係学部 （人間関係学科、人間福祉学科）、 比較文化学部（比較文化学科）設置 多摩校学生会館竣工 草稿・テキスト研究所設立
2000 年 H12 年	所長 村上弘幸 (H12.4-H15.3) 室長 村上弘幸 (H12.4-H13.3)	多摩校分館改修増床 3 階～4 階を図書館に		
2001 年 H13 年			「情報メディアセンター」設立 情報処理教育センターと教育工学開発室が合併改組する 千代田校に学習支援部門・教材制作部門、多摩校に計算機部門・学習支援部門、狭山台校に学習支援部門を設置	
2002 年 H14 年	館長 栗原裕 (H14.4-H16.3)	千代田校大学校舎 - 新図書館棟 NTTスーパーワイド LAN で接続	補完教育「課外パソコン講習」「課外英語力強化プログラム」をセンター所管のもと開始	家政学部ライフデザイン学科、文学部コミュニケーション文化学科設置
2003 年 H15 年	所長 玉井浩 (H15.4-H19.3)	1 月 千代田本館新図書館棟に移転 地下 2 階～地上 4 階を図書館に入退館システム導入 地下 1 階にアイコーナーを設置 パソコン 40 台と視聴覚コーナー設置	千代田校に情報メディアセンター 計算機部門設置 各キャンパス各教室情報コンセントで KOTAKA-net 接続開始	千代田校短期大学部家政科第二部廃止 家政学部、文学部 2 年生履修地狭山台校から千代田校に変更
2004 年 H16 年	館長 渡部満彦 (H16.4-H20.3)	4 月 文系共同図書室 千代田校図書館 4 階に仮設置		
2005 年 H17 年			統合認証システム稼働	事務組織にグループ制導入 大妻学院将来構想検討委員会発足
2006 年 H18 年				生活科学資料館設置
2007 年 H19 年	所長 伊藤朋恭 (H19.4-H20.3)			
2008 年 H20 年	所長 栗原裕 (H20.4～)	将来構想検討委員会の答申に基づき「情報メディアセンター」と「図書館」が合併改組される。 [計算機部門]の一部と[教材制作部門][学習支援部門]は[メディア教育開発グループ]となる。 また計算機部門業務の一部は IT 化推進室と統合され事務局に新設された「システム管理室」となる。 「総合情報センター」設立 [千代田校・狭山台校・多摩校 図書館グループ] [千代田校・狭山台校・多摩校 メディア教育開発グループ] 「システム管理室」設立		大妻学院創立 100 周年
2009 年 H21 年		9 月 CALIS システムから新システム E-CatsLibrary へ移行		
2010 年 H22 年		ラーニング コモンズ 利用開始	アカウント統合管理システムに AD サーバー組み入れ	
2011 年 H23 年		ラーニング コモンズ リニューアル 備品交換・持ち込みパソコンのインターネット接続環境整備		
2012 年 H24 年		千代田校 AV・情報メディアルームリニューアル		
2013 年 H25 年		5 月 文系共同図書室 本館 E 棟 8 階に移転 千代田校 入退館システムリニューアル 12 月 狭山台校 2 階グループ学習コーナー設置、1 階エントランスリフト変更	学習支援システム（LMS）「manaba」利用開始	千代田校本館 E 棟及び別館 J 棟竣工
2014 年 H26 年		9 月 多摩校メディアルームリニューアル		千代田校本館 F 棟竣工
2015 年 H27 年		1 月 狭山台校分館閉館		狭山台校閉校

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

◆千代田校 【大学校舎】

棟	階	施設仕様	教室	定員 (席数)	AV 収納架	学生用 PC	教員用 PC	持込 PC	VP	スクリー ン	モニタ	特記事項
A 棟	1F	視聴覚教室	A150	315	操作卓		1	●	1	2	2	PDP(43")、映像ネットワーク
			A155	168	操作卓		1	●	2	2		映像ネットワーク、遠隔授業システム
			A157	132	操作卓		1	●	1	2		映像ネットワーク
			A164	135	操作卓		1	●	1	2		
			A166	107	操作卓		1	●		1	4	PDP(42")、映像ネットワーク
	2F	視聴覚教室	A250	80	ラック		1	●		1	2	LCD(37")、映像ネットワーク
			A252	150	操作卓		1	●	1	2		映像ネットワーク
			A254	150	ラック		1	●	1	2		
			A257	150	ラック		1	●	1	2		
			A264	135	操作卓		1	●		1	4	PDP(50")、映像ネットワーク
A266			107	ラック		1	●	1	2			
B 棟	情報処理教室	B232	68	操作卓	68	2	●	1	1		OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)	
	モニター教室	B242	79	ワゴン					1	1	CRT(29")	
B246		78	ワゴン					1	1			
C 棟	CALL 教室	C271	64	操作卓	64	2	●	1	1		OS:Windows7 PC@LL ST(Ver.8.0)	
		モニター教室	C281	32	ワゴン			●				LCD(32")
			C282	28	ワゴン			●				
A 棟	3F	簡易 AV 教室	A353	22	ワゴン		1	●	1	1		スクリーンはホワイトボード利用
			A355	22	ワゴン		1	●	1	1		
			A356	22	ワゴン		1	●	1	1		
			A357	42	ワゴン		1	●	1	1		
C 棟	視聴覚教室	A366	168	ラック		1	●	1	2			
		情報処理教室	C370	60	操作卓	60	2	●	1	1		OS:Windows7 PC@LL DT(Ver.8.0)
			C373	60	操作卓	60	2	●	1	1		
		モニター教室	C381	20	ラック		1	●			1	LCD(42")
			C382	27	ラック		1	●			1	
C383	21		ラック		1	●			1			
A 棟	4F	視聴覚教室	A450	72	ラック		1	●	1	2		
		簡易 AV 教室	A452	72	ワゴン		1	●	1	1		
			A453	108	ワゴン		1	●	1	1		
			視聴覚教室	A455	108	ラック		1	●	1	2	
		A457		108	ラック		1	●	1	2		
		A464		135	ラック		1	●	1	2		
		A466		107	ラック		1	●	1	2		
	5F	簡易 AV 教室	A550	72	ワゴン		1	●	1	1		
			A552	72	ワゴン		1	●	1	1		
		視聴覚教室	A553	108	ラック		1	●	1	2		
			A555	108	ラック		1	●	1	2		
			A557	108	ラック		1	●	1	2		
			A564	72	ラック		1	●	1	2		
		簡易 AV 教室	A565	72	ワゴン		1	●	1	1		
			A567	71	ワゴン		1	●	1	1		
D 棟	簡易スタジオ	D517	—	—								
	視聴覚教室	D518	36	操作卓		1	●	1	1	2	スクリーンはホワイトボード利用	
A 棟	6F	視聴覚教室	A650	72	ラック		1	●	1	2		
		簡易 AV 教室	A652	72	ワゴン		1	●	1	1		
		視聴覚教室	A653	108	ラック		1	●	1	2		
			A655	108	ラック		1	●	1	2		
			A657	108	ラック		1	●	1	2		
			A664	72	ラック		1	●	1	2		
		簡易 AV 教室	A665	72	ワゴン		1	●	1	1		
			A667	71	ワゴン		1	●	1	1		
B1	アトリウム			ラック							音響システム	

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

【本館E棟】

階	施設仕様	教室	定員 (席数)	AV 収納架	学生用 PC	教員用 PC	持込 PC	VP	スクリー ン	モニタ	特記事項
B1	視聴覚教室	E055	339	操作卓		1	●	3	3	1	LCD(55")、映像ネットワーク
	情報処理自習室	E062	80	—	80						OS:Windows7
2F	モニター教室	E263	24	ラック		1	●			1	LCD(42")
3F	PC コーナー	E330	12	—	12						OS:Windows7
	情報処理教室	E352	60	操作卓	60	2	●	1	1		OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)
		E354	60	操作卓	60	2	●	1	1		OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)
	CALL 教室	E356	40	操作卓	40	2	●	1	1		OS:Windows7 PC@LL DT(Ver.8.0)
		E358	36	操作卓	36	2	●	1	1		OS:Windows7 PC@LL ST(Ver.8.0)
	モニター教室	E362	24	ラック		1	●			1	LCD(42")
		E363	24	ラック		1	●			1	
4F	視聴覚教室	E452	90	ラック		1	●	1	1		映像ネットワーク
		E454	110	ラック		1	●	1	1		
		E456	110	ラック		1	●	1	1		
	教職実践演習室	E457	66	ラック	6	1	●	5	1	1	LCD(42")、サイドスクリーンはホワイトボード利用
5F	PC コーナー	E530	12	—	12						OS:Windows7
	モニター教室	E552	24	ラック		1	●			1	LCD(42")
		E562	24	ラック		1	●			1	

【本館F棟】

階	施設仕様	教室	定員 (席数)	AV 収納架	学生用 PC	教員用 PC	持込 PC	VP	スクリー ン	モニタ	特記事項
3F	視聴覚教室	F332	168	ラック		1	●	1	1		映像ネットワーク
		F335	168	ラック		1	●	1	1		
		F337	117	ラック		1	●	1	1		
		F342	117	ラック		1	●	1	1		
		F344	117	ラック		1	●	1	1		
4F	視聴覚教室	F432	168	ラック		1	●	1	1		映像ネットワーク
		F435	168	ラック		1	●	1	1		
		F437	117	ラック		1	●	1	1		
5F	視聴覚教室	F542	117	ラック		1	●			1	映像ネットワーク
		F544	117	ラック		1	●			1	
6F	視聴覚教室	F432	168	ラック		1	●	1	1		映像ネットワーク
		F435	168	ラック		1	●	1	1		
		F437	117	ラック		1	●	1	1		
7F	モニター教室	F732	24	ラック		1	●			1	LCD(42")
		F733	24	ラック		1	●			1	
		F734	24	ラック		1	●			1	
		F735	24	ラック		1	●			1	
		F736	24	ラック		1	●			1	
		F737	24	ラック		1	●			1	
	視聴覚教室	F742	117	ラック		1	●	1	1	1	映像ネットワーク
		F744	117	ラック		1	●	1	1	1	

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

【図書館】

棟	階	施設仕様	席数	施設タイプ／特記事項
図書館棟	B1	PC コーナー	50 席	プリンター 4 台
		AV ブース	19 席	ビデオ ,DVD,CD
	1F	事務室,メインカウンター,検索コーナー (3 席),新着本コーナー,展示ケース,他		
	2F	閲覧席	124 席	
		開架書架,レファレンスカウンター,大型本,参考図書,検索・コピー各コーナー,他		
	3F	閲覧席	140 席	
		個人用ブース	3 席	
		開架書架,レファレンスカウンター,絵本,検索・コピー各コーナー,他		
	4F	閲覧席	87 席	
		ラウンジ モンズ	34 席	
閉架書庫,新着雑誌,寄贈雑誌,新聞,検索・コピー各コーナー,他				

◆狭山台校

【1号館・2号館】

棟	階	施設仕様	教室	定員 (席数)	AV 収納架	学生用 PC	教員用 PC	持込 PC	VP	スクリーン	モニタ	特記事項
2	1F	視聴覚教室	154	336	操作卓			●	1	2		
1号館	2F	モニター教室	202	40	ワゴン						1	CRT(29")
			203	40	ラック			●			1	PDP(42")
			204	49	ワゴン						1	CRT(29")
		視聴覚教室	205	164	ラック			●	1	2		
			206	164	ラック			●	1	2		
			207	81	ラック			●			2	PDP(42")
			208	210	ラック			●	1	1		
			209	140	ラック			●	1	2		
2号館		モニター教室	251	79	ワゴン						2	CRT(25")
			252	129	ラック			●			2	PDP(42")
			253	78	ラック			●			2	PDP(42")
1号館	3F	モニター教室	302	56	ワゴン						1	CRT(29")
			303	56	ラック			●			1	PDP(42")
			304	40	ワゴン						1	CRT(29")
2号館	4F	モニター教室	452	129	ワゴン						2	CRT(29")
		情報処理教室	451	76	操作卓	76	2	●	1			OS:WindowsXP Comschool(Ver.6.0)
		CALL 教室	456	64	操作卓	64	2	●	1	1		OS:WindowsXP PC@LL ST(Ver5.5)

【図書館】

棟	階	施設仕様	席数	施設タイプ/特記事項
図書館棟	1F	閲覧席	77 席	
		AV コーナー	25 席	ビデオ ,LD,DVD,CD
		事務室,PC,開架書架,新着雑誌コーナー,検索・コピー各コーナー,他		
	2F	閲覧席	82 席	
		キャレル	22 席	
		開架書架,グループ学習コーナー, PC, 検索コーナー,他		
	3F	キャレル	6 席	
		閉架書庫,他		

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

◆多摩校

【比較棟・社情棟・人間棟・図書館棟・学生会館】

階	施設仕様	教室	定員 (席数)	AV 収納架	学生用 PC	教員用 PC	持込 PC	VP	スクリ ーン	モニタ	特記事項
比較文化学部棟	1F	視聴覚教室	3100	120	操作卓		1	●	1	2	
			3122	240	操作卓		1	●	1	2	LCD(55")
			3127	132	ラック		1	●	1	2	
			3130	131	ラック		1	●	1	2	
	2F	視聴覚教室	3200	72	ラック		1	●	1	1	
		モニター教室	3203	28	ラック					1	CRT(29")
		視聴覚教室	3206	57	ラック		1	●	1	1	
			3208	69	ラック		1	●	1	1	
			3220	69	ラック		1	●	1	1	
			3223	57	ラック		1	●	1	1	
		情報処理・LL 教室	3225	60	操作卓	60	1	●	1	1	OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)
			3230	50	操作卓	50	1	●	1	1	
比較文化学部棟	3F	視聴覚教室	3300	84	ラック		1	●	1	1	
		モニター教室	3303	28	ラック			●			1 PDP(42")
			3306	57	ラック				1	1	CRT(29")
		視聴覚教室	3308	57	ラック		1	●	1	1	
			3320	69	ラック		1	●	1	1	
		モニター教室	3323	57	ラック					1	CRT(29")
			3325	30	ラック			●		1	PDP(42")
		視聴覚教室	3329	39	ラック		1	●	1	1	
		モニター教室	3331	39	ラック				1	1	CRT(29")
		情報処理自習室	4264	60	操作卓	60	1	●			OS:Windows7
社会情報学部棟	1F	基礎化学実験室	6117	28	ラック	15		●	1		OS:Windows7
		視聴覚教室	6113	325	操作卓		1	●	1	2	2 PDP(43")
			6153	175	操作卓		1	●	1	2	
			6155	48	操作卓		1	●	1	1	
			6156	48	操作卓		1	●	1	1	
	2F	情報処理実習室	6215	72	操作卓	72	1	●	1	1	OS:Windows7/Linux PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)
			6218	72	操作卓	72	1	●	1	1	
			6254	64	操作卓	64	1	●	1	1	
			6256	64	操作卓	64	1	●	1	1	
		視聴覚教室	6212	64	操作卓		1	●	1	1	
			6213	125	ラック		1	●	1	2	
			6220	125	ラック		1	●	1	1	
			6250	125	ラック		1	●	1	2	
			6252	48	操作卓		1	●	1	1	
			6253	48	操作卓		1	●	1	1	
	3F	PC 兼用講義室	6312	42	操作卓	42	1	●	2	3	OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)
		LL 教室	6313	45	ラック	40	1	●	1	1	OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)
		情報処理・LL 教室	6315	36	ラック	42	1	●	1	1	OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)
		視聴覚教室	6320	175	操作卓		1	●	1	2	

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

棟	階	施設仕様	席数	施設タイプ／特記事項							
人間関係学部棟	1F	視聴覚教室	7114	151	操作卓		1	●	2	3	遠隔授業システム
			7127	300	操作卓		1	●	1	2	7114 教室連携授業システム(千代田校連携可)
	2F	視聴覚教室	7214	151	操作卓		1	●	1	2	
			7217	67	操作卓	67	1	●	1	1	OS:Windows7 PC@LL 授業支援 (Ver.8.0)
		情報処理・LL 教室	7237	69	操作卓	69	1	●	1	1	
			7247	110	ラック		1	●	1	2	
		モニター教室	7260	33	ラック			●			1 LCD(55")
			7262	52	ラック			●	1	2	
		モニター教室	7281	33	ラック			●			1 LCD(55")
			7282	33	ラック			●			1 LCD(55")
			7283	33	ラック			●			1 PDP(42")
		視聴覚教室	7284	52	ラック			●	1	2	
			7286	52	ラック		1	●	1	1	
	3F	視聴覚教室	7313	52	ラック		1	●	1	1	
			7315	52	ラック		1	●	1	1	
			7318	110	ラック		1	●	1	1	
			7338	110	ラック		1	●	1	1	
			7348	110	ラック		1	●	1	1	
		モニター教室	7362	36	ラック			●			1 LCD(55")
			7368	36	ラック						1
			7381	36	ラック						1 CRT(29")
			7382	36	ラック						1
			7383	36	ラック						1
			7384	36	ラック			●			1 PDP(43")
			7385	36	ラック			●			1 PDP(43")
			7386	36	ラック			●			1 PDP(42")
			7387	36	ラック						1 CRT(29")
			7388	36	ラック						1
学	3F	大講義室	2322	801	操作卓		1	●	1	1	

【図書館】

棟	階	施設仕様	席数	施設タイプ／特記事項
図書館棟	3F	閲覧席	114 席	
		メディアルーム	29 席	PC12 台, プリンター 2 台, ビデオ, DVD, CD
		事務室, メインカウンター, 新着雑誌, 新聞, 閉架書庫, 検索・コピー各コーナー, 他		
	4F	閲覧席	148 席	
		学習室	54 席	
		キャレル	6 席	
		開架書架, 大型本, 参考図書, 検索コーナー, 閉架書庫, 他		



大妻女子大学 総合情報センター年報
第 7 号 (2014 年度)

2015 年 7 月 1 日発行

編集・発行 大妻女子大学 総合情報センター

〒102-8357 東京都千代田区三番町 12 番地

TEL 03-5275-6013 (図書館)

TEL 03-5275-6085 (メディア教育開発センター)